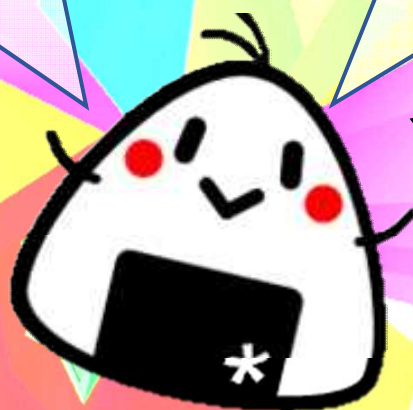


2014年度アグリビジネス創出フェア 基調講演

革新的技術創造促進事業 (異分野融合共同研究)が 始まります。

【日本食】講演者
(国)京都大学大学院医学研究科
特定助教 池田 香織氏
11月14日(金)13:00~13:25
セミナールームE

【ウイルス】講演者
(国)岡山大学大学院自然科学
研究科 教授 世良 貴史氏
11月13日(木)13:00~13:25
セミナールームE



4分野の拠点研究
機関が異分野と連
携した研究内容を
紹介するよ!

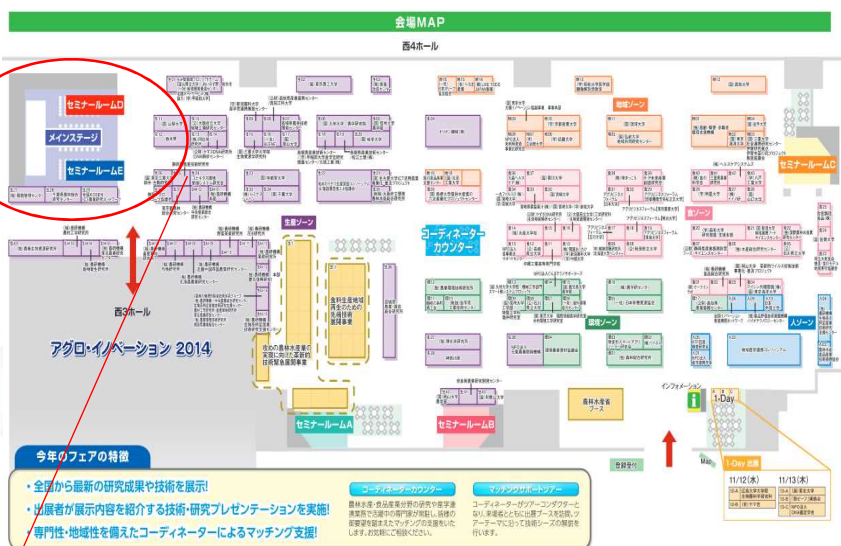
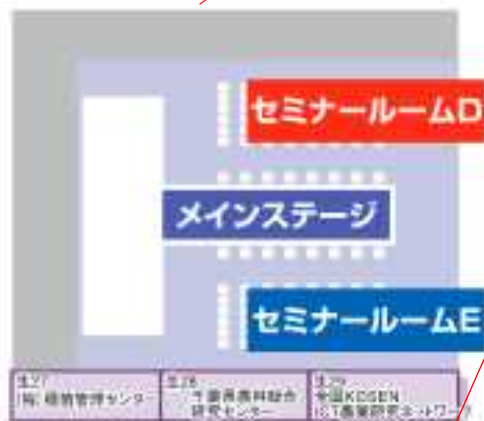
農研機構キャラクター
おむすび なるりん

【情報インフラ】講演者
(国)名古屋大学大学院情報科
学研究科 教授 北 栄輔氏
11月13日(木)13:35~14:00
セミナールームE

【高機能性素材】講演者
(国)信州大学 先鋭領域融合研
究群カーボン科学研究所
特別特任教授 遠藤 守信氏
11月14日(金)11:40~12:10
メインステージ

講演会場はここです！

アグリビジネス 創出フェア会場 (東京ビッグサイト 西4ホール)



革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)とは？

革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)とは、我が国の農林水産業・食品産業の国際競争力の強化を図るため、農林水産業の生産現場や消費者等のニーズを踏まえ、遺伝子工学、医学、ICT、ナノテクノロジー等異分野の革新的な技術を農林水産・食品分野へ活用する研究開発について、公募を通じて研究を委託するものです。

対象研究領域、公募類型及び公募する研究の内容は以下のとおりです。

(1) 対象研究領域

- ① 医学・栄養学との連携による日本食の評価
- ② 情報工学との連携による農林水産分野の情報インフラの構築
- ③ 理学・工学との連携による革新的ウイルス対策技術の開発
- ④ 工学との連携による農林水産物由来の物質を用いた高機能性素材等の開発

(2) 公募の類型

① 計画研究

(1)のそれぞれの研究領域について、拠点となる研究機関を核としたプラットフォームを構築し、地域の技術ニーズに基づき、実用化を目指した研究開発を行うものです。

② 公募(補完)研究

①の計画研究を補完しうる個別の要素技術についての研究開発を行うものです。

問い合わせ先



独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
生物系特定産業技術研究支援センター 基礎的研究課
連絡先: 048-669-9190

農林水産省農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室
連絡先: 03-3502-5530

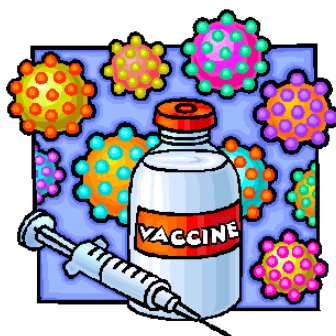


11月13日(木) 13:00~13:25 セミナールームE

革新的人工核酸結合タンパク質を用いた ウイルス対策技術の確立と社会実装

農林水産省の「革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）」のウイルス分野の拠点研究機関に選ばれた本学の取り組みを紹介し、我々の所有技術を紹介し、これらがどのようにウイルス感染防御に有効であるかを説明します。

また、拠点研究機関としての今後の方向性についても紹介します。



講演者

国立大学法人岡山大学
大学院自然科学研究科
教授 世良 貴史氏

11月13日(木) 13:35~14:00 セミナールームE

農業分野の情報インフラの構築と ウェブサービス開発

我が国では丁寧な生産・流通により品質の良い農林水産物が消費者に届けられていますが、篤農家の高齢化や、海外からの輸入産物の流入等、国内農業を取り巻く状況は決して優しくはありません。

「ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト」では、個々の農家の圃場の生育環境、農作物の生育状況などの情報をセンサー等から取り入れ、これらを元に栽培管理作業や経営情報などで必要とされるサービスが農家に提供するシステムを開発することを目的とします。

本発表では拠点が目指す ICT 活用農業普及に向けての活動ならびに研究開発内容について紹介します。



講演者

国立大学法人名古屋大学
大学院情報科学研究科
教授 北 栄輔氏



11月14日(金) 11:40~12:10 メインステージ



講演者

国立大学法人信州大学
先鋭領域融合研究群
カーボン科学研究所
特別特任教授

遠藤 守信氏

農林水産物由来物質とナノカーボンの “ナノ・ナノ”コンビネーションと応用

農林水産物由来の残渣等を利用して各種ナノ素材を調製し、それを先進的なナノカーボンと融合して“ナノ・ナノ”コンビネーション(nano・nano combination)による新規機能材料の創成が期待できます。

特にナノ構造を制御して高度な機能発現を実現し、複合材料やエネルギーデバイスなど広範な産業応用に繋げ、これによって新たな素材産業の創出ならびに農林水産業の強化に繋げることを紹介します。



11月14日(金) 13:00~13:25 セミナールームE

医学・栄養学との連携による 日本食の評価

「和食;日本人の伝統的な食文化」が世界文化遺産に登録され、国内外での日本食に対する期待や関心が高まっています。しかし、日本食とはどのような食事を指すのか、その食事をとることによってどのような効果が期待されるのかについて、根拠となるものが非常に限られている状況です。本研究では日本食を科学的・多面的に検証することで、その根拠を明らかにしていくことを紹介します。



講演者

国立学校法人京都大学
大学院医学研究科
特定助教

池田 香織氏

